

| | | | | | | | |
|-------------|--|------|----|--|-------|-----|---|
| 科目名 | 人文科学Ⅱ Human Science II | | | 担当教員 | 田口 淳 | | |
| 学年 | 4年 | 学期 | 通年 | 科目番号 | 09105 | 単位数 | 2 |
| 分野 | 一般 | 授業形式 | 講義 | 履修条件 | 選択 | | |
| 学習目標 | 教育に関する基本的知識を身につけながら、現代社会が抱えている教育的諸問題への関心を深めるとともに、自分自身の教育観の形成を目標とする。 | | | | | | |
| 進め方 | 講義形式を基本とし、プリント教材を用いながら進めていく。 適宜、新聞記事の紹介またはビデオ教材の視聴を通して、授業内容を理解する手助けとしていく。 教育に関するテーマで、1人1回学生による個人発表を行う。 | | | | | | |
| 学習内容 | 学習項目（時間数） | | | 合格判定水準 | | | |
| | 1. 教育とは？(2) 2. 教育観の史的展開(28) (1) 原始時代の教育観 (2) 古代ギリシャ時代の教育観 (3) 近代以前の教育観 (4) 近代の教育観 (5) 現代の教育観 | | | 教育の基本的概念が理解し説明ができる。 各時代における教育観のポイント並びにその変遷の大きな流れが説明できる。 | | | |
| | 前期末試験 | | | | | | |
| | *試験返却・解説(1) 3. ペスタロッチの教育思想(13) (1) 生涯 (2) 居間の教育 (3) 直観の原理 (4) 基礎陶冶の理念 4. ヘルバルトの教育思想(16) (1) 生涯 (2) 教育の目的 (3) 子どもの管理 (4) 教育的教授 (5) 訓育 (6) ヘルバルト学派の教育学 (7) 日本の教育界への影響 | | | ペスタロッチの教育理念と教育方法論の基本的な考え方を理解し、説明することができる。 ヘルバルト教育学の基本的構造を理解し、さらにペスタロッチやカントとの関連において説明することができる。 明治期の日本の教育界におけるヘルバルト学派の教育学受容のポイントを理解し、説明することができる。 | | | |
| | 後期末試験 試験返却・解説(1) | | | | | | |
| 評価方法 | 評価の内訳は、レポートの提出状況 10%、個人発表の評価（学生による相互評価の平均点）20%、定期試験 70%とする。 | | | | | | |
| 学習・教育目標との関係 | (A) 広い視野と技術者としての倫理観（倫理） | | | | | | |
| 関連科目 | 歴史Ⅰ（1年）→ 歴史Ⅱ（2年）・公民Ⅰ（2年）→ 公民Ⅱ（3年）→ 人文科学Ⅱ（4年） | | | | | | |
| 教材 | プリント教材を使用 | | | | | | |
| 備考 | ○オフィスアワー 原則として毎週月曜日の放課後 ○担当教員への連絡先 TEL：087-869-3842, E-mail：taguchi@t.kagawa-nct.ac.jp | | | | | | |